



校長通信 Morifun

第5号 5月下旬のトピックス

皆さんこんにちは。校長通信第5号です。5月もあつという間でしたねえ。下旬のトピックスをまとめてお伝えします！

教育実習 「ようこそ先輩！」

5月8日（月）～26日（金）の3週間、今年度の教育実習が実施され、3人の先輩が緊張の面持ちで実習に臨みました。

実習生は石井航太先生（地歴・東北学院大）、田母神幹太先生（保体・新潟福祉医療大）、駒田敦哉先生（保体・国土館大）の3名で、毎日授業見学や指導案の作成・検討、SHRや部活動指導と、目が回るような忙しさの中、日を経るにしたがって確実に良い授業ができるようになって来て、生徒とのコミュニケーションの取り方もぎこちなさが取れてくるなど、成長が目に見えました。



3週間の実習は長く感じたかもしれませんが（ちなみに私がこれまで勤めた高校ではたいてい2週間でした）。けれど終わってみればあつという



間だったのではないのでしょうか。3人の先輩たちにはぜひ教員になっていただき、将来岩手県の高校教育の第一線の担い手になっていただきたいものです。



石井先生、田母神先生、駒田先生、本当にお疲れさまでした。お元気で！また会いましょう！

礼拝 村井真人先生の講話

5月23日（火）今月の礼拝は、鈴木道也先生に代わって宗務課の村井真人先生からお話がありました。新約聖書の「マタイによる福音書」から、「見てもらおうとして人の前で善行をしないように注意しなさい。（中略）そうすれば、隠れたことを見ておられる父があなたに報いて下さ

る。」というくだりについて、村井先生はユーモアを交えながら、「ほめられようとして自分に注意を向けさせようとしていないだろうか？」という、ドキッとさせられるようなお話や、「テスト



の成績や大会の結果よりもそこに至るまでの自分しか知らない努力が『やり切った感』につな



がる」、そして、「誰も見ていないからと言って落ちているごみを拾わないような人間にならないように」等、考えさせられるお話をたくさんしてくださいました。生徒の皆さんはどうだったでしょう？皆さんにとっても本校の礼拝が「自分について考える時間」になってくれることを願っています。村井先生、示唆に富んだお話をありがとうございました！

また、礼拝の後には生徒の皆さんの服装について、生徒会と先生方からお話がありました。

制服をきちんと着こなす、整容を整えるという



ことは、ともすると生徒の自由を束縛するよう感じられるかもしれませんが、

実は「正しい着こなし」は生徒さんを守ってくれています。そして、「正しい制服の着こなし」は本校にとっての「生命線」でもあるのです。村井先生のお話は、このこととも通じていたように思います。この機会に、生徒の皆さん一人ひとりが「制服の着こなし(※『着崩し』ではありません)」について考えてほしいと思いました。

突撃！隣の部活動！

放課後の各部の力のこもった練習の様子を写真で紹介しましょう！

バドミントン部
スマッシュユー！



柔道部
迫力の打ち込み！



さんさ部
エヤーサエヤーサ！



卓球部
渾身のラケット！



軽音楽部
みんなそろって！



剣道部
裂はくの気合！

